

[雑誌論文]

1. 著者名： 梶田将司
2. 論文標題：大学情報環境における挑戦 - 2つの国立大学での経験から見た過去30年と今後
3. 雑誌名： 情報処理学会論文誌「教育とコンピュータ」 (招待論文)
4. 巻： 10
5. 発行年：2024年
6. 最初と最後の頁：-
7. 論文のDOI：-
8. 査読の有無：有
9. オープンアクセス：オープンアクセスとしている (また、その予定である)
10. 国際共著：-

1. 著者名： 宮野公樹
2. 論文標題：納得の文系に説得の理系
3. 雑誌名： アステイオン
4. 巻： 98
5. 発行年：2023年
6. 最初と最後の頁：204-221
7. 論文のDOI：
8. 査読の有無：
9. オープンアクセス：
10. 国際共著：

1. 著者名： 宮野公樹
2. 論文標題：学際とは何かー進化と深化ー
3. 雑誌名： Lab.First
4. 巻： 2
5. 発行年：2023年
6. 最初と最後の頁：13-18
7. 論文のDOI：
8. 査読の有無：
9. オープンアクセス：
10. 国際共著：

1. 著者名： 宮野公樹
2. 論文標題：「気になる」をきっかけに 学問の種を大事に育てて

3. 雑誌名：学研のせんせいを応援！Smile
4. 巻：459
5. 発行年：2023年
6. 最初と最後の頁：1-7
7. 論文のDOI：
8. 査読の有無：
9. オープンアクセス：
10. 国際共著：

1. 著者名：宮野公樹
2. 論文標題：学際、挑戦から日常へ
3. 雑誌名：アステイオン
4. 巻：99
5. 発行年：2023年
6. 最初と最後の頁：216-228
7. 論文のDOI：
8. 査読の有無：
9. オープンアクセス：
10. 国際共著：

1. 著者名：宮野公樹
2. 論文標題：歴史の居場所はあなたのなかにすべてある
3. 雑誌名：京都新聞
4. 巻：元旦特集号「日本人の忘れ物」
5. 発行年：2024年
6. 最初と最後の頁：
7. 論文のDOI：
8. 査読の有無：
9. オープンアクセス：
10. 国際共著：

1. 著者名：宮野公樹
2. 論文標題：探求とは
3. 雑誌名：現代思想
4. 巻：2024年4月号
5. 発行年：2024年
6. 最初と最後の頁：108-115
7. 論文のDOI：

8. 査読の有無：
9. オープンアクセス：
10. 国際共著：

1. 著者名： Shoichiro Hara; Frey Urszula Ann; Shinsuke Mori; Masami Matsuda

2. 論文標題： Finding Tipping Points in Web Text Data

3. 雑誌名：

4. 巻：

5. 発行年： 2023

6. 最初と最後の頁：

7. 論文のDOI： 10.23919/PNC58718.2023.10314969

8. 査読の有無：

9. オープンアクセス：

10. 国際共著：

[学会発表]

1. 発表者名： 武田和樹, 中村泰之, 青木学聡, 梶田将司

2. 発表標題： Comfortable SakaiによるSakai LMSの機能改善およびユーザ評価

3. 学会等名： 情報処理学会研究報告教育学習支援情報システム (CLE), vol. 2024-CLE-42, no. 2, pp. 1-6,

4. 発表年： 2024年

5. 招待講演？： x

6. 国際学会？： x

1. 発表者名： 梶田将司, 天野絵里子, 原正一郎, 家森俊彦

2. 発表標題： 研究者のためのRDMアーキテクチャ開発方法論に関する考察

3. 学会等名： 情報処理学会研究報告教育学習支援情報システム (CLE), vol. 2024-CLE-42, no. 1, pp. 1-8,

4. 発表年： 2024年

5. 招待講演？： x

6. 国際学会？： x

1. 発表者名：梶田将司
2. 発表標題：京都大学における教育用端末サービスの BYOD 化とクラウド化 - アーキテクチャ的視点での変遷 -
3. 学会等名：情報処理学会研究報告インターネットと運用技術 (IOT) , vol. 2024-IOT-62, no. 16, pp. 1-7
4. 発表年：2023年
5. 招待講演？：x
6. 国際学会？：x

1. 発表者名：Nosé M., A. Shinbori, Y. Miyoshi, T. Hori, T. Oohira, J. Hashiba, C. Naoe, M. Okamoto, T. Sagara, T. Aoki, I. Takahashi, H. Hayashi, K. Yamada, Y. Tanaka, S. Abe, S. UeNo, S. Imajo, and Y. Saito
2. 発表標題：Metadata mapping between disciplinary and general schemas for promotion of data use by a wider community
3. 学会等名：日本地球惑星科学連合2023年大会
4. 発表年：2023年
5. 招待講演？：x
6. 国際学会？：o

1. 発表者名：能勢正仁, 新堀淳樹, 三好由純, 堀智昭, 大平司, 端場純子, 直江千寿子, 岡本麻衣子, 相良毅, 青木学聡, 高橋一郎, 林秀和, 山田一成, 田中良昌, 阿部修司, 上野悟, 今城峻, 齊藤泰雄
2. 発表標題：研究データの可視化を加速するための研究分野メタデータと共通メタデータ間のメタデータマッピング
3. 学会等名：Japan Open Science Summit 2023
4. 発表年：2023年
5. 招待講演？：x
6. 国際学会？：x

1. 発表者名：Nosé M., A. Shinbori, Y. Miyoshi, T. Hori, T. Oohira, J. Hashiba, C. Naoe, M. Okamoto, T. Sagara, T. Aoki, I. Takahashi, H. Hayashi, K. Yamada, Y. Tanaka, S. Abe, S. UeNo, S. Imajo, and Y. Saito
2. 発表標題：Metadata mapping between disciplinary and general schemas for promotion of data use by a wider community
3. 学会等名：IUGG2023

4. 発表年：2023年
5. 招待講演？：x
6. 国際学会？：o

1. 発表者名：能勢正仁，新堀淳樹，三好由純，堀智昭，大平司，端場純子，直江千寿子，我喜屋累，岡本麻衣子，相良毅，青木学聡，高橋一郎，林秀和，山田一成，田中良昌，阿部修司，上野悟，今城峻，齊藤泰雄
2. 発表標題：研究データをより見つけやすくするためのメタデータ変換と機関リポジトリへの登録
3. 学会等名：第154回地球電磁気・地球惑星圏学会総会
4. 発表年：2023年
5. 招待講演？：x
6. 国際学会？：x

1. 発表者名：家森俊彦，梶田将司，Janice Smith，Jacques Raynault，能勢正仁，青木学聡，原正一郎，宮野公樹
2. 発表標題：研究データマネージメント(RDM)の技能向上と教育のためのルーブリック開発(3) - Basic版 -
3. 学会等名：第154回地球電磁気・地球惑星圏学会総会
4. 発表年：2023年
5. 招待講演？：x
6. 国際学会？：x

1. 発表者名：Toshihiko Iyemori，Tadashi Aoyama，Yoshihiro Yokoyama，Vijak Pangsapa，Thanawat Jarupongsakul，Yasuharu Sano，Yoko Odagi，Yoshikazu Tanaka，Satoshi Taguchi，Akinori Saito，Kornyanat Hozumi，and Masato Iguchi
2. 発表標題：Vertical acoustic resonance excited by passing Lamb waves
3. 学会等名：Japan Geoscience Union
4. 発表年：2023
5. 招待講演？：x
6. 国際学会？：x

1. 発表者名：家森俊彦，青山忠司，横山佳弘，Pangsapa Vijak，Jarupongsakul Thanawat，佐納康治，小田木洋子，田中良和，田口

聡, 齊藤 昭則, 穂積 Kornyanat, 井口正人

2. 発表標題 : トンガ海底火山噴火により発生・伝搬したLamb波の異方性と電離圏電子密度擾乱分布異方性の関係

3. 学会等名 : 第154回地球電磁気・地球惑星圏学会総会

4. 発表年 : 2023

5. 招待講演? : x

6. 国際学会? : x

1. 発表者名 : Shoichiro Hara

2. 発表標題 : Finding Tipping Points in Web Text Data

3. 学会等名 : 2023 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC)

4. 発表年 : 2023

5. 招待講演? : x

6. 国際学会? : x

1. 発表者名 : Shoichiro Hara

2. 発表標題 : Scientific Data Activities in Southeast Asian Studies

3. 学会等名 : [DSWS-2023] International Symposium on Data Science 2023

4. 発表年 : 2023

5. 招待講演? : o

6. 国際学会? : o

1. 発表者名 : 原 正一郎

2. 発表標題 : 人文学DXを指向する情報基盤の構築

3. 学会等名 : 研究データエコシステム構築事業シンポジウム

4. 発表年 : 2023

5. 招待講演? : x

6. 国際学会? : x

[本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況]

1. 共同研究相手国 : アメリカ

2. 相手方研究機関 : SPASE consortium, NASA

1. 共同研究相手国 :
2. 相手方研究機関 :

1. 共同研究相手国 :
2. 相手方研究機関 :

[備考] (ホームページ等)

* 京都大学学際融合教育研究推進センター・アカデミックデータイノベーションユニット <https://www.kudzu.cpier.kyoto-u.ac.jp>

* 京都大学学際融合教育研究推進センター
<http://www.cpier.kyoto-u.ac.jp/>

* 講演・企画

・パネルディスカッション登壇. 「2050年のグローバルリーダーを考える」, 日経こども未来経済フォーラム, 2023年5月10日

・登壇. 「オープンラボ: 話せる教授」, エコーど京大, 2023年6月1日

・司会. 女性研究者座談会, 審査員. ポスターセッション, NIKKEI STEAM SYMPOSIUM, 2023年7月19日

・企画. 「学問図鑑」ワークショップ, NPO法人寺子屋プロジェクト「Tera school」, 2023年7月24日

・基調講演. 「データ駆動型学際融合研究への誘い」, 京都大学アカデミックデータ・イノベーションユニット 第8回京都大学研究データマネジメントワークショップ, 2023年8月8日

・パネルディスカッション. 「異種格闘技から学ぶ未来の創り方」, STEAM Association 東京ベンチャーカフェCIC, 2023年8月10日

・講演. 「問いの哲学」, ハテナソンONLINE・LIVEセミナー いま、そしてこれからの問いづくり, 2023年9月9日

・基調講演. 「これからの探究という演題で本来の探求を語る」, 茨城県立水戸第一高等学校 研究力向上セミナー, 2023年9月14日

・発表. 「専門とは何か」, 京都大学アカデミックデイ2023, 2023年9月24日

・招待講演. 「専門とは何か—学際を切り口に学問を語ってみる—」, 名古屋工業大学 工学教育総合センター 2023年度第3回FD研究会「リベラルアーツ教育と専門教育」, 2023年10月20日

・登壇. 「出展者に聞いてみる企画のココが面白い!」, サイエンスアゴラ2023 前夜祭, 2023年11月17日

- ・登壇. 「サイエンスアゴラ2023見どころ紹介」サイエンスアゴラ 2023, 2023年11月18日
- ・講演. 「STEAM、STEAM Association、アカデミア、ビジネスの未来について」, STEAM HANGOUT 感謝祭, VEIL Shibuya, 2023年12月14日
- ・司会. 「果たして「学際」は挑戦から日常になったか? 」, アステイオン連載企画「超えるのではなく辿る、二つの文化」, サントリー文化財団, 2023年12月18日
- ・パネルディスカッション登壇&司会. 「異分野協創のマインドセット」, VENTURE CAFE TOKYO, 一般社団法人 STEAM Association, 2023年12月21日
- ・講義. 「“学び”の学びについて」, 東京理科大学 オープンカレッジ, 2024年1月18日
- ・学問を語るBar: 「問い」こそすべて～学びの境界領域（際）を探る～, 理系と一くバー, 2024年2月3日
- ・クラウドファンディング, 「分野不問で匿名制の研究ポスター発表大会、全国9地区で開催す!」, 全国キャラバン 3QUESTIONS（国際高等研究所）, academist, 2024年1月29日
- ・対談. 「倫理学の思考法を学ぶ意味」, 京都大学ELP4日間集中講座「科学技術と倫理 ビジネスと倫理」, 京都大学ELP, 2024年2月9日
- ・講演. 「探求学習とは何か」, 第29回FDフォーラム 第11分科会, 大学コンソーシアム京都, 2024年2月24日
- ・書評寄稿, マラニー&レア『リサーチのはじめかた』, 學鏡 2024年 03月号, 2024年2月29日
- ・企画. 全国キャラバン3Questions中国地区編, 国際高等研究所, 2024年3月3～6日
- ・出演. 小堀勝啓の新栄トークジャンボリー, CBCラジオ, 2024年3月24日

*記事掲載

- ・今を問い直すことは、自分を問い直すこと。不確実な世界でも進み続けるための「問い」とは? — 今を問い直し、新たな未来を創るデザイン #5, WORKMILL, 2023年4月8日
- ・なぜ私たちは、耳に心地よい情報に流されやすいのだろうか?, WEBメディア遠方見聞録ロングインタビュー記事, 2023年5月20日
- ・サイエンスアゴラ2023の公式ビジュアルに、Gakkenの『世界が広がる学問図鑑』の起用が決定, PR TIMES プレリリース記事, 2023年6月14日
- ・日経こども未来経済フォーラムでのパネルディスカッション, 日経新聞, 2023年6月22日
- ・【パネル討論】2050年のグローバルリーダーを考える, 日経

BizGate, 2023年6月29日

・はじめて出会う学問の世界, PR TIMES, 2023年8月15日

・サイエンスアゴラ2023×学問図鑑 コラボ企画の内容が公開!, PR

TIMES, 2023年9月27日

・アカデミアの現場からグローバリズムについて考える「サイエンスアゴラin京都」で白熱トーク, サイエンスポータル, 2023年10月17日

・全国9地区で開催! 「匿名制」での研究ポスター発表大会「全国 3

QUESTIONS」 3月に広島からスタート, 大学ジャーナル ONLINE, 2024年2月7日

・脱タコツボのすすめ=元村有希子, 毎日新聞 東京朝刊 社説, 2024年2月14日

・匿名制の研究発表大会 「問い」磨き合うきっかけに, 中国新聞, 2024年2月20日

・学際センターの取り組みが論文にて紹介される, 異分野連携・融合研究の推進と高等教育: U-goプログラムの実践と効果, 新潟大学高等教育研究 第11巻, 2024年3月28日